

広報 ざおう お知らせ版

廃棄物の野焼きは法律で禁止されています 環境政策課 TEL33-3007

野外焼却(野焼き)は、悪臭や煙による近隣住民とのトラブルを誘発するだけでなく、環境面からもダイオキシン類を発生させ、人の健康への影響が心配されることから、法律で禁止されています。一般家庭の可燃ごみ(燃やせるごみ)は、所定のごみ袋に入れて集積所に出してください。

一部例外的に認められるものとして、農林業などを営むうえで、農業者が農地管理又は害虫駆除のために行う稲わらや、あぜ道・用排水路等を除草した刈草等の焼却、林業者が行う伐採した枝の焼却、一般家庭で日常生活を営む範囲での落ち葉焚きなどがあります。いずれも限定的に認められているものなので、周辺の迷惑とならないよう十分に配慮する必要があります。

また、最近では町内において、ごみ焼きから火災が発生した事例もありますので、ごみ焼きを止めるとともに、農作業上の火入れの際は事前に消防署へ届出するほか、他に燃え移らないよう最大限の注意を払うようにしてください。

野焼きには罰則があり、法律に違反した行為者は5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金に処せられます。また法人では、1億円以下の罰金に処せられますので、適切な廃棄物処理をお願いします。

薪ストーブ等の灰の取扱いについて 環境政策課 TEL33-3007

薪ストーブや薪風呂に、原発事故由来の放射性物質(セシウム)が付着した薪材を燃料利用している場合、発生した焼却灰から高い濃度の放射性物質が検出されています。

焼却灰を畑等に散布した場合、放射性物質の一部が作物に吸収されて、食用には不適格となることも考えられますので、安易に畑等に散布せずに放射能の測定を受けるようにして下さい。

町では、各自で保管している焼却灰の放射能測定を実施しているほか、引き続き焼却灰の受入れを随時行っていますので、担当課までご連絡のうえ搬入して下さい。

土壌改良資材などを使用する場合の基準を下表に掲載しますので、焼却灰を土壌改良資材として畑などに散布する場合は参考にしてください。

※参考 肥料中の放射性物質に関する暫定許容値・放射性セシウム134、137	
品 目	肥料・土壌改良資材・培土・家畜用敷料
許 容 値	400ベクレル/kg以下

放射能測定結果

農林水産物等の放射能測定結果

農林観光課 TEL33-3004

前回のお知らせ以降、県で実施した町内の農林水産物等の放射能測定結果は、次のとおりです。

ゲルマニウム半導体検出器による検査結果（県調査）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取日	放射性セシウム	食品中の放射性物質(セシウム)の基準値
いちご	H26. 3. 31	不検出	100
つぼみな	H26. 3. 31	不検出	
こまつな(露地)	H26. 3. 30	不検出	
ほうれんそう(露地)	H26. 3. 31	不検出	
いちご	H26. 4. 14	不検出	
つぼみな(露地)	H26. 4. 13	不検出	
ほうれんそう(露地)	H26. 4. 14	不検出	
ほうれんそう(施設)	H26. 4. 14	不検出	
イワナ(天然)	H26. 4. 19	23	
原乳(仙南クーラー ステーション)	H26. 3. 27 4/3・10・17・24	不検出	50

<参考> 食品中の放射性物質に関する基準値(食品衛生法)

放射性物質	濃度(ベクレル/kg)			
	放射性セシウム (セシウム 134, 137)	飲料水	10	乳児用食品
	牛乳	50	一般食品	100

水道水の放射能測定結果

上下水道課 TEL33-3000

町の水道水について、4月に測定したところ放射性物質は検出されませんでした。

仙南・仙塩広域水道の南部山浄水場(白石)から供給されている水道水についても3月24日・31日、4月7日・14日・21日に行われた測定で、放射性物質は検出されませんでした。

ゲルマニウム半導体検出器による検査結果（町調査）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取日	放射性セシウム	食品中の放射性物質(セシウム)の基準値
遠刈田給水栓	H26. 4. 24	不検出	10

持込み農畜産物や学校給食食材の放射能測定結果

農畜産物等の測定結果

農林観光課 TEL33-3004

平成26年3月25日から4月23日までの測定結果(公表同意分)

測定日	測定品目	採取地	採取日	測定結果 (単位:ベクレル/キログラム)		
				セシウム 134	セシウム 137	合計
3月27日	ふきのとう	円田字十文字北	H26.3.26	不検出(<14)	不検出(<13)	不検出(<27)
4月2日	シイタケ	遠刈田温泉下の原	H26.4.2	66	195	261
4月16日	シイタケ	曲竹字川原田	H26.4.15	83	213	296
4月16日	うるい	円田字十文字北	H26.4.16	不検出(<12)	不検出(<12)	不検出(<24)
4月16日	たらの芽	円田字十文字北	H26.4.16	不検出(<17)	不検出(<15)	不検出(<32)
4月18日	たけのこ	宮字沢南上	H26.4.18	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月18日	ニジマス(養殖)	遠刈田温泉七日原	H26.4.18	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月18日	イワナ(養殖)	遠刈田温泉七日原	H26.4.18	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月21日	里芋	円田字手代木	H26.4.21	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)

学校給食食材の測定結果

教育総務課 TEL33-3008

平成26年4月8日から4月24日までの測定結果

測定日	食材名	産地	測定結果 (単位:ベクレル/キログラム)		
			セシウム 134	セシウム 137	合計
4月8日	きゅうり	宮城県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月9日	だいこん	千葉県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月10日	菜の花	宮城県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月15日	キャベツ	千葉県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月16日	にんじん	徳島県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月17日	にら	茨城県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月22日	ピーマン	宮崎県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月23日	たまねぎ	北海道	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)
4月24日	もやし	福島県	不検出(<10)	不検出(<10)	不検出(<20)

※測定場所:蔵王町役場

測定機器: NaIシンチレーションスペクトロメーター
CAPINTEC社・CAPTUS-3000A

測定時間:1800秒

- 測定値は、放射性セシウム134と137の合計です。
- 測定値が「不検出」とは、放射性物質の濃度が検出下限値未満の状態を表し、「不検出」横の()内の値はその測定の検出下限値を示しています。

各施設の空間放射線量測定結果

環境政策課 TEL33-3007

平成26年3月27日から4月28日までの測定結果

●蔵王町役場前駐車場

測定器: ALOKA TCS-172B 単位: μ Sv/h(マイクロシーベルト/時間)

測定日 高さ(m)	3/27 木	3/28 金	3/31 月	4/1 火	4/2 水	4/3 木	4/4 金	4/7 月	4/8 火	4/9 水	4/10 木	4/11 金
1.0	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05
0.5	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06

測定日 高さ(m)	4/14 月	4/15 火	4/16 水	4/17 木	4/18 金	4/21 月	4/22 火	4/23 水	4/24 木	4/25 金	4/28 月
1.0	0.06	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06
0.5	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	0.06	0.06

●小学校・児童館

測定箇所		測定日	高さ(m)	4/8 火	4/18 金
小学校	遠刈田	校庭	0.5	0.06	
	平沢		0.5	0.07	
	円田		0.5	0.09	
	永野		0.5	0.08	
	宮		0.5	0.10	
児童館	遠刈田	園庭	0.5		0.06
		砂場	0.1		0.06
	平沢	園庭	0.5		0.07
		砂場	0.1		0.05
	円田	園庭	0.5		0.09
		砂場	0.1		0.07
	永野	園庭	0.5		0.08
		砂場	0.1		0.07
	宮	園庭	0.5		0.10
		砂場	0.1		0.05

●幼稚園・保育所・保育園・グラウンド

測定箇所		測定日	高さ(m)	4/11 金	4/21 月
幼稚園	遠刈田	園庭	0.5	0.08	
		砂場	0.1	0.07	
	永野	園庭	0.5	0.10	
		砂場	0.1	0.07	
	宮	園庭	0.5	0.10	
		砂場	0.1	0.06	
保育所	永野	園庭	0.5	0.07	
		砂場	0.1	0.05	
	宮	園庭	0.5	0.10	
		砂場	0.1	0.07	
保育園	たんぽぽ 保育園	園庭	0.5		0.08
		砂場	0.1		0.09
	コスモス 保育園	園庭	0.5		0.11
		砂場	0.1		0.12
総合運動公園	多目的グラウンド		0.5		0.09
	B&G グラウンドゴルフ場 (芝生面上)		0.5		0.12
	B&G 芝生遊具場		0.1		0.12
向山運動公園グラウンド		0.5		0.10	

●人が自然放射線(宇宙、大地、食物摂取)によって受ける世界標準年間放射線量は2.4ミリシーベルト、又電気事業連合会「原子力・エネルギー」図面集 2011(改)によると、宮城県における自然放射線量(バックグラウンド)は0.94ミリシーベルト(0.107 μ sv/h)で、この自然放射線と医療目的の被曝は年間被曝許容限度には含みません。

(1シーベルト=1,000ミリシーベルト=1,000,000マイクロシーベルト)

●毎時0.23マイクロシーベルトの箇所で屋外に8時間、屋内に16時間いたとすると、年間追加被曝量は1ミリシーベルトとなる。

{(0.23-0.04)×8時間+(0.23-0.04)×16時間×40%}×365日÷1,000=0.999ミリシーベルト

※①0.04は大地からの放射線量 ②40%は建物による低減率。